

第3次芦屋市環境計画実績及び自己評価報告書 (平成30年度)

目標値	点数
達成	20
未達成	0

昨年度と比較して	
進んだ	10
現状維持	5
後退, 実績なし	0

評価値	
15点以上	A
10点以上	B
10点未満	C

基本目標①									
	目標値	H29	H30	目標値達成	後退	現状維持	進んだ	評価点	評価
市内で開催された生きものの観察会などの回数[回]	12 ↑	3	3	0		5		5	C
公園施設のバリアフリー化率	56.6 ↑	22.6	26.4	0			10	10	B
環境に関する講座・勉強会の開催数[回]	12 ↑	6	6	0		5		5	C
平均値							7	C	

基本目標②									
	目標値	H29	H30	目標値達成	後退	現状維持	進んだ	評価点	評価
微小粒子状物質測定結果	15 ↓	12.6	12.6	20		5		25	A
光化学オキシダント	344 ↓	441	322	20			10	30	A
自動車騒音	3 ↓	3	2	20			10	30	A
ホームページアクセス数	30000 ↑	25,699	25,182	0	0			0	C
苦情件数	15 ↓	20	27	0	0			0	C
平均値							17	A	

基本目標③									
	目標値	H29	H30	目標値達成	後退	現状維持	進んだ	評価点	評価
オープンガーデンの参加団体数	125 ↑	127	133	20			10	30	A
放置自転車の撤去数	↓	1047	1018	20			10	30	A
無電柱化	14.1 ↑	12.4	14.0	0			10	10	B
マナー条例キャンペーンの回数	30 ↑	14	10	0	0			0	C
平均値							18	A	

基本目標④									
	目標値	H29	H30	目標値達成	後退	現状維持	進んだ	評価点	評価
温室効果ガス排出量（t-CO2）	18,816 ↓	18,606	17,006	20			10	30	A
公立小中学校における省エネプロジェクトによる削減量	↑	0.6	28.4	20			10	30	A
公共施設への再生可能エネルギー導入件数	20 ↑	17	19	0			10	10	B
エネルギー使用量（GJ）	61,808 ↓	371,013	362,616	0			10	10	B
街路灯のLED化率	41.8 ↑	38.2	49.7	20			10	30	A
平均値							22	A	

基本目標⑤									
	目標値	H29	H30	目標値達成	後退	現状維持	進んだ	評価点	評価
市民1人当たりの1日のごみ排出量	900 ↓	880	880	20		5		25	A
リサイクル率	19.6 ↑	16.3	16.3	0		5		5	C
スリム・リサイクル宣言の店舗数	50 ↑	75	72	20	0			20	A
環境処理センターの施設見学者の年間合計	950 ↑	863	814	0	0			0	C
リユースに関するイベントの年間来場者数	300 ↑	1596	1628	20			10	30	A
平均値							16	A	

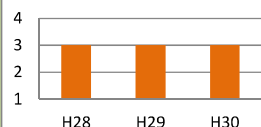
基本目標① 自然環境を守る	
総合評価	主な実績及び評価の理由 ・イベント主催から「場」の提供へ「環境づくり推進会議」のあり方の見直し～目標達成のためには、継続的・組織的かつ市民・事業者と共同で自然環境を守る体制の構築が必要であることを踏まえ、芦屋市環境づくり推進会議のあり方を見直し、これまでの「イベント主催者」から「市内の環境団体の支援者」への転換を図りました。その取組みとして、2月23日（土）市民センターにおいて、「環境フェスタ」を開催しました。 ・市内に在住もしくは市内の学校に通学する小学生を対象に、「子ども環境作文コンクール」を実施し、環境について考えてもらう機会をつくりました。 ・公園施設のバリアフリー化率については、順調に伸びております。
C	さまざまな取組みは実施いたしましたが、いずれも目標を達成しておらず、前年度と横ばいの指標も多かったため、総合評価は「C」となりました。

指標	目指す方向 (目標)	28年度実績	29年度実績	30年度実績	30年度評価
市内で開催された生きものの観察会などの回数[回]	(12)	3	3	3	C
公園施設のバリアフリー化率	(☆56.6)	20.7	22.6	26.4	B
環境に関する講座・勉強会の開催数[回]	(12)	5	6	6	C

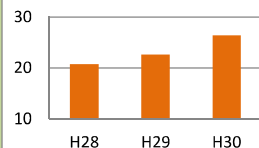
市内で開催した生きものの観察会等（平成30年度）

芦屋川のホタル観察会	6月2日
宮川河口域での生き物観察会	7月23日
芦屋川上流での生き物観察会	7月28日

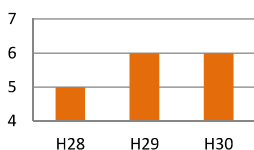
市内で開催された生きものの観察会などの回数[回]



公園施設のバリアフリー化率[%]



環境に関する講座・勉強会の開催数[回]



主な実績紹介

環境フェスタの開催

2月23日（土）芦屋市環境づくり推進会議主催で市民センター401室で開催いたしました。

環境団体による自然素材を使った工作などのワークショップやパネル展示、芦屋の自然について

半田先生にご講演いただき、化石の展示やペットボトルを利用した実験をしました。

当日は200名を超える来場者に楽しんでいただきました。



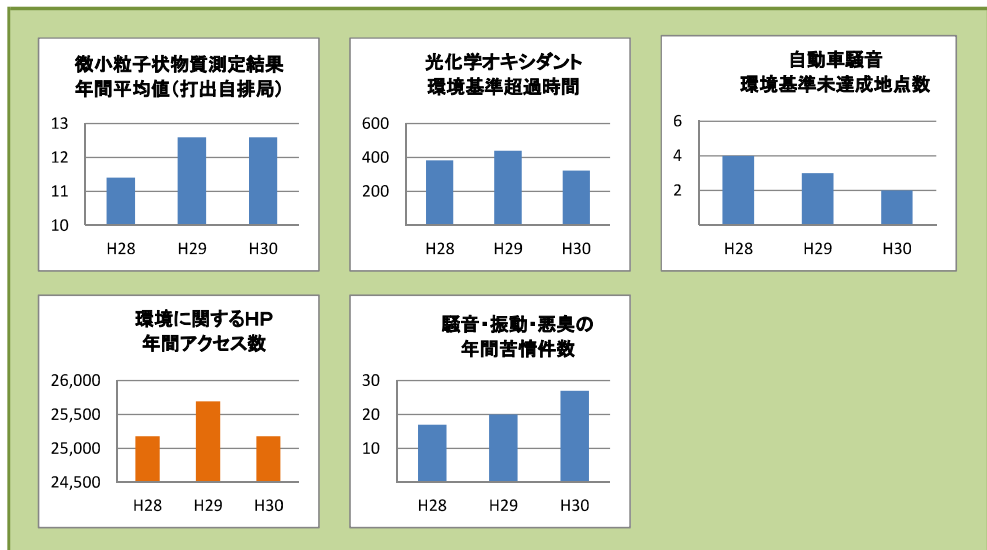
各課施策・取組状況一覧

施策の方向	施策	個別施策・取組	担当課	参考		30年度実績 (又は施策進捗を表す指標等)	令和元年度以降の取組内容(改善案) ※実施予定の取組み(改善案)について、必ず記入下さい。	
				28年度(概要)	29年度(概要)			
				実績	実績			
生きものの生息環境を知り、守る	地域の生きものの種類や数を調べ、知らせる	①環境に関する冊子等の作成及び配布・販売	環境課	第9期環境づくり推進会議において、「場」を提供する仕組み作りを検討。	環境づくり推進会議主催で、環境団体・市民の関わりを広げるための環境団体の発表やパネル展示、芦屋の自然に詳しい古市先生のご講演、そして「子ども環境作文コンクール」の表彰式などを行いました。	いもり谷・いもり池の自然に関する冊子を作成した。また、市内の小学校の3年生・4年生に対して冊子を配布し、環境学習の補助教材として提供した。また冊子のデータをホームページで公表した。	市内の生き物についての冊子を作成するとともに、市内の植物についての調査を実施する。	今年度
	いろいろな主体による観察会や講座を実施する	①芦屋川カレッジや公民館講座における環境に関する講義・講座の実施	公民館	①芦屋川カレッジにて、自然環境や環境問題・エネルギーをテーマとした講義を実施した。(回数:4回、受講者数:91人)	①芦屋川カレッジにて、自然環境や環境問題・エネルギーをテーマとした講義を実施した。(回数:4回、受講者数:72人)	①芦屋川カレッジにて、自然環境や環境問題・エネルギーをテーマとした講義を実施した。(回数:4回、受講者数:87人)	今年度も継続して、芦屋川カレッジにて、自然環境や環境問題・エネルギーをテーマとした講義を実施する。	今年度
		①芦屋川のホタル観察会の実施 ②星空観察会の実施 ③アシレンジャーに協力し、芦屋川・宮川での生き物観察会の実施 ④環境づくり推進会議を主体として観察会等の実施	環境課	①芦屋川に魚を増やそう会と共催実施 ②夏冬に実施(各1回 参加者数のべ96人) ③アシレンジャー主催の観察会に共催(2回)	①芦屋川に魚を増やそう会と共催実施 ②夏冬に実施(各1回 参加者数のべ55人) ③アシレンジャー主催の観察会に共催(2回)	①芦屋川に魚を増やそう会と共催実施 ②夏は台風接近のため中止をした。冬の星空観察会を実施(参加者数 50人) ③アシレンジャー主催の観察会に共催(2回) ④環境フェスタと題して、市内の環境団体さんによる自然素材を使ったワークショップの開催、化石の展示や芦屋の生き物に関する講演等のイベントを実施した。	引き続き取組みを行う。	今年度
	外来生物の流入・増殖、在来種の乱獲を防ぐ	①H25に仲ノ池の改修工事に伴う外来魚の駆除を実施	公園緑地課	①当該事業は仲ノ池の工事に併せ、工事前、工事後の環境調査等を行ったものであり、一定の結果が得られたことから事業を終了とする。	①例年通りの維持管理を実施	①例年通りの維持管理を実施	①例年通りの維持管理を実施予定	今年度
		①外来種の流入や在来種の保護について、市民の理解と協力を促すよう啓発を実施	環境課	①H28.6の環境特集号にて啓発。 H28.6.4のホタルの観察会にて啓発チラシを配布。H28.7.23の健康福祉フェアにて外来種(アカミミガメ)の展示。	①H29.6の環境特集号にて啓発。 H29.6.3のホタルの観察会にて啓発チラシを配布。	①秋祭りでの啓発を準備していたが、台風接近のため中止となった。 県との共催で実施した、「森の子育て広場」において赤耳ガメなどの外来種について、総合公園のビオトープの生き物観察をとおして啓発をした。	引き続き取組みを行う。	今年度
	山の緑の豊かさを維持するため、自然植生を守る	①財産区における松くい虫の防除	用地管財課	①財産区内樹木防除(7本)	①ナラ枯れ樹木に対する病害虫防除(46本)	①松くい虫被害等景観対策事業(5本) ②その他森林病害虫等防除事業(34本)	ナラ枯れ等、森林病害虫防除の実施	今年度
		①市内樹木の松くい虫の防除に係る補助事業	地域経済振興課	①市内樹木において発生した松くい虫伐採に係る補助事業を実施した。(件数:5件 本数10本 在籍19.92㎡)	①市内樹木において発生した松くい虫被害木の伐採に係る補助事業を実施した。(件数:6件 本数:22本 材積:26.556㎡)	①市内樹木において発生した松くい虫被害木の伐採に係る補助事業を実施した。(件数:3件 本数:14本 材積:13.872㎡)	①市内の松くい虫被害は減少傾向であるが、被害拡大を防ぐため引き続き事業を実施していく。	今年度
自然とふれあえる場を守り、さらに	山の緑に親しめる場の維持管理、守るための啓発を行う	①あしや山まつりの開催	地域経済振興課	H28.5.22実施 参加者450人	H29.5.14実施 参加者700人	当日、台風および豪雨のため中止	令和1.5.12実施 参加者700人	すでに実施
	水辺の魅力を守り、良好な環境を創出する	・芦屋川及び宮川沿いの清掃 ①定期清掃 ②夏・冬における除草	下水道課	①芦屋川、宮川及び芦屋浜の定期清掃を実施した。(実施回数:94回) ②芦屋川、宮川の除草を実施した。(実施場所及び回数:夏季は高水数、冬季は高低水数で各1回)	①芦屋川、宮川及び芦屋浜の定期清掃を実施した。(実施回数:94回) ②芦屋川、宮川の除草を実施した。(実施場所及び回数:夏季は高水数、冬季は高低水数で各1回)	①芦屋川、宮川及び芦屋浜の定期清掃を実施した。(実施回数:94回) ②芦屋川、宮川の除草を実施した。(実施場所及び回数:夏季は高水数、冬季は高低水数で各1回)	・芦屋川及び宮川沿いの清掃 ①定期清掃 ②夏・冬における除草 現状を維持し、川の景観を守ることを努力する。	今年度
	身近な緑や社寺林などのままとった緑を守る	①保護樹林の指定	都市計画課	①保護樹林を3箇所指定(累計、当該年度は新たな指定は無い)し、伐採等を行う際は、届出を行うことにより、保護を行っている。	①保護樹林を3箇所指定(累計、当該年度は新たな指定は無い)し、伐採等を行う際は、届出を行うことにより、保護を行っている。	①保護樹林を3箇所指定(累計、当該年度は新たな指定は無い)し、伐採等を行う際は、届出を行うことにより、保護を行っている。	①例年通り業務を遂行する	すでに実施
		①ビオトープ池の設置管理	公園緑地課	①公園内に設置したビオトープの維持管理。(設置公園:総合公園、大槻公園、清水公園内、前田公園)	①公園内に設置したビオトープの維持管理。(設置公園:総合公園、大槻公園、清水公園内、前田公園)	①公園内に設置したビオトープの維持管理。(設置公園:総合公園、大槻公園、清水公園内、前田公園)	①例年通りの維持管理を実施予定。	今年度

施策の 方向	施策	個別施策・取組	担当課	参考		30年度実績 (又は施策進捗を表す指標等)	令和元年度以降の取組内容(改善案) ※実施予定の取組み(改善案)について、必ず記入下さい。	
				28年度(概要)	29年度(概要)			
				実績	実績			
充実させる	ビオトープの適正な維持管理・ 市民農園の運営管理を行う	①市民農園の運営管理	地域経済振興課	①岩園第2市民農園(35区画)六龍 荘市民農園(51区画)	①岩園第2市民農園(35区画)六龍 荘市民農園(51区画)	①岩園第2市民農園(35区画)六龍荘市民農園 (51区画)	①岩園第2市民農園(35区画)六龍荘市民農園 (51区画)	今年度

基本目標② 健康で快適な生活環境を創る	
総合評価	主な実績及び評価の理由 ・大気質及び悪臭～NOx、SOx、SPM、PM2.5は基準達成、Oxは基準非達成～ 市内計5局（県立2局、市立3局）存在する大気汚染常時監視測定局の観測結果を踏まえると、平成30年度については、光化学オキシダント（Ox）を除き、環境基準を達成しました。 ・騒音、振動～建築工事、自動車騒音は要監視～ 本市に寄せられる苦情のうち、最も多いのは建設工事に伴うものでした。今後も引き続き、必要に応じて現場確認や指導を行います。また、自動車騒音は2地点で環境基準非達成であり、引き続き監視を行います。 ・本市HP（環境分野）へのアクセス数～ 環境に関する本市のホームページの年間アクセス数は昨年と比較すると減少いたしました。アクセス数が一番多かったのは、公園に関するものでした。 総合評価につきましては、「A」評価と「C」評価が混在しておりますが、目標を達成できた指標が多かったことから「A」評価となりました。
A	

指標	目指す方向 (目標)	28年度実績	29年度実績	30年度実績	30年度評価
微小粒子状物質測定結果（打出自）（年間平均値）〔μg/m〕	↘ (15)	11.4	12.6	12.6	A
光化学オキシダント（環境基準超過時間）〔時間〕	↘ (344)	384	441	322	A
自動車騒音（環境基準未達成地点数）〔地点〕	↘ (3)	4	3	2	A
環境に関する本市ホームページへの年間アクセス数〔回〕	↗ (30,000)	25,182	25,699	25,182	C
騒音・振動・悪臭の苦情件数〔件〕	↘ (15)	17	20	27	C



主な実績紹介

大気の常時監視

本市では次のとおり大気汚染状況を監視し、環境基準の達成状況を把握すると共に、測定結果を兵庫県ホームページで常時公開しています。

①一般大気の常時監視

朝日ヶ丘小学校、潮見小学校、打出浜小学校の3局にてリアルタイムで測定・監視しました。

②自動車排出ガスの常時監視

打出局と宮川小学校局の2局で測定・監視し、幹線道路である国道43号沿道の大気汚染状況を確認しました。

兵庫県のホームページで表示



低公害車の導入補助

低公害車の普及を図るため、市内の事業者等が下記の低公害車を購入しようとする場合に、その購入資金の一部を助成しています。

- ①電気自動車
- ②燃料電池自動車
- ③ハイブリッド自動車
(バス・トラックに限る)

平成30年度は1件の申請がありました。

測定車での測定の様子



各課施策・取組状況一覧

施策の方向	施策	個別施策・取組	担当課	参考		30年度実績 (又は施策進捗を表す指標等)	令和元年度以降の取組内容(改善案) ※実施予定の取組み(改善案)について、必ず記入下さい。	
				28年度(概要)	29年度(概要)			
				実績	実績			
健康な生活に関わる環境について知る	大気質、騒音・振動、交通量など定期的な環境測定・調査と公表を行う	①常時大気汚染監視測定 ②環境測定車による測定 ③芦屋浜における騒音測定 ④その他、各種測定 ⑤各種測定結果をまとめた「芦屋市の環境」の発行	環境課	①昨年度同様リアルタイム監視中 ②昨年度と同様に実施 ③4箇所×4回測定。 ④アスベスト、窒素酸化物、酸性雨、有害大気汚染物質等を測定。 ⑤各種測定結果をまとめた冊子を発行した(HPIにも掲載)。	①昨年度同様リアルタイム監視中 ②市内7箇所で大気質及び騒音・振動を測定し、同時期に交通量調査も行った。 ③4箇所×4回測定。 ④アスベスト、窒素酸化物、酸性雨、有害大気汚染物質等を測定。 ⑤各種測定結果をまとめた冊子を発行した(HPIにも掲載)。	①昨年度同様リアルタイム監視中 ②市内7箇所で大気質及び騒音・振動を測定し、同時期に交通量調査も行った。 ③4箇所×4回測定。 ④アスベスト、窒素酸化物、酸性雨、有害大気汚染物質等を測定。 ⑤各種測定結果をまとめた冊子を発行した(HPIにも掲載)。	引き続き監視測定等を実施する。	今年度
	新たな環境問題に関する情報を収集・発信する	①常時大気汚染監視測定局におけるPM2.5の測定 ②市内の空間放射線量の測定	環境課	①PM2.5(微小粒子状物質)市内2カ所で常時監視(測定場所:打出自排局、朝日ヶ丘小学校)。 ②空間放射線量の測定を実施した(回数及び箇所数:1回13箇所)ところ、異常値は認められなかった。	①PM2.5(微小粒子状物質)市内2カ所で常時監視(測定場所:打出自排局、朝日ヶ丘小学校)。 ②空間放射線量の測定を実施した(回数及び箇所数:1回13箇所)ところ、異常値は認められなかった。	①PM2.5(微小粒子状物質)市内2カ所で常時監視(測定場所:打出自排局、朝日ヶ丘小学校)。 ②県のモニタリング結果より異常がないことから、測定を実施しなかった。	引き続き監視測定等を実施する。	今年度
きれいな水と空気をを守る	自動車による公害を減らす	①事業者が低公害車を導入する際の補助 ②ノーマイカーデーの推進 ③国道43号線・阪神高速道路公害対策	環境課	①導入補助の申込はなし。 ②広報紙、庁内放送での啓発 ③国道43号及び阪神高速道路3号神戸線における自動車公害対策に関して、3市(尼崎市、西宮市、芦屋市)合同で環境省、近畿地方整備局、近畿運輸局、阪神高速線へ環境改善の要望を行った。	①1件の補助を実施。 ②広報紙、庁内放送での啓発 ③国道43号及び阪神高速道路3号神戸線における自動車公害対策に関して、3市(尼崎市、西宮市、芦屋市)合同で環境省、近畿地方整備局、近畿運輸局、阪神高速線へ環境改善の要望を行った。また、環境省の委託をうけて、低周波音・振動の調査を実施し、同時に心的影響と物的影響のアンケート調査を実施した。	①1件の補助を実施。 ②広報紙、庁内放送での啓発 ③国道43号及び阪神高速道路3号神戸線における自動車公害対策に関して、3市(尼崎市、西宮市、芦屋市)合同で環境省、近畿地方整備局、近畿運輸局、阪神高速線へ環境改善の要望を行った。また、環境省の委託をうけて、低周波音・振動の調査を実施した。	引き続き継続して業務を実施する。	今年度
	公共水域の水質を守る	①特定事業所の水質検査	下水道課	①クリーニング店等の特定事業所への水質調査を実施した。(件数:10件)	①クリーニング店等の特定事業所への水質調査を実施した。(件数:10件)	①クリーニング店等の特定事業所への水質調査を実施した。(件数:10件)	①特定事業所の水質検査	今年度
		①下水の処理	下水処理場	①芦屋処理区及び南芦屋浜処理区で発生した汚水を処理し放流した。(合計:18,309千m3 芦屋下水処理場:17,605千m3 南芦屋浜下水処理場:704千m3)	①芦屋処理区及び南芦屋浜処理区で発生した汚水を処理し放流した。(合計:16,724千m3 芦屋下水処理場:15,960千m3 南芦屋浜下水処理場:764千m3)	①芦屋処理区及び南芦屋浜処理区で発生した汚水を処理し放流した。(合計:16,689千m3 芦屋下水処理場:15,853千m3 南芦屋浜下水処理場:836千m3)	現状を維持し、良い水質を保てるように努める。	今年度
	有害物質の飛散防止など、法令や規制を遵守する	①特定工作物解体等実施届出書の経由	環境課 建築指導課	①アスベスト飛散の可能性がある建物解体工事や大規模【1,000㎡以上】建物の解体工事の際に、事前に解体方法についての届出を受け、アスベストの飛散防止等を図った。(受理件数 環境課 3件 建築指導課 53 件)	①アスベスト飛散の可能性がある建物解体工事や大規模【1,000㎡以上】建物の解体工事の際に、事前に解体方法についての届出を受け、アスベストの飛散防止等を図った。(受理件数 環境課 5件 建築指導課54件)	①アスベスト飛散の可能性がある建物解体工事や大規模【1,000㎡以上】建物の解体工事の際に、事前に解体方法についての届出を受け、アスベストの飛散防止等を図った。(受理件数 環境課 7件 建築指導課42件)	①アスベスト飛散の可能性がある建物解体工事や大規模【1,000㎡以上】建物の解体工事の際に、事前に解体方法についての届出を受け、アスベストの飛散防止等を図る。	今年度
周りの活動環境に指配す慮した	騒音・振動による被害の防止に努める	①特定建設作業実施届出書・特定施設設置届出書の受理及び苦情対応	環境課	①特定建設作業実施届出書(受理件数286件 苦情対応件数7件) 特定施設設置届出書(受理件数5件 苦情対応件数1件)	①特定建設作業実施届出書(受理件数273件 苦情対応件数13件) 特定施設設置届出書(受理件数6件 苦情対応件数2件)	①特定建設作業実施届出書(受理件数250件 苦情対応件数17件) 特定施設設置届出書(受理件数5件 苦情対応件数3件)	引き続き継続して業務を実施する。	今年度
	悪臭や騒音により周辺に迷惑をかけないようにする	①生活騒音等の相談	環境課	①生活騒音に係る相談(4件)	①生活騒音に係る相談(4件)	①生活騒音に係る相談(3件)	引き続き継続して業務を実施する。	今年度

基本目標③ 美しいまちなみを育む

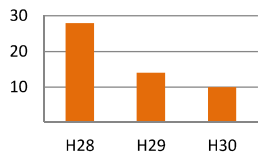
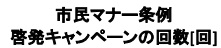
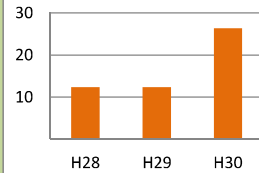
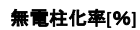
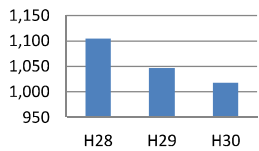
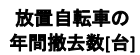
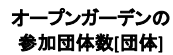
総合評価

A

主な実績及び評価の理由

- ・マナー条例～官学協働による啓発～
平成19年に制定された通称「市民マナー条例」は徐々に市民の方々に浸透しつつあるものの、依然として喫煙禁止区域での喫煙や空き缶の投げ捨て等、条例違反が散見されます。神戸芸術工科大学と連携し、啓発用うたわの配布や看板の設置等を行いました。また、「犬のお散歩マナー」向上のためのモデルロードに設置するタイルや看板の作成も行い、お披露目式を開催いたしました。
- ・芦屋オープンガーデン～庭園都市実現を目指して～
平成16年度に「庭園都市宣言」を行った本市では、庭園都市実現に向けた取組として、平成30年度もオープンガーデンを実施。近年徐々に参加者が増え、平成30年度実績では133の個人・団体が参加し、市内の緑や花を楽しむ機会となりました。
- ・無電柱化についても、目標を達成することができました。
- 総合評価につきましては、目標を達成し前年度よりも実績が前進した指標が複数あったことにより、「A」評価となりました。

指標	目指す方向 (目標)	28年度実績	29年度実績	30年度実績	30年度評価
オープンガーデンの参加団体数[個人・団体]	(☆125)	121	127	133	A
放置自転車の撤去数[台]	↘	1,105	1,047	1,018	A
無電柱化率[%]	(☆14.1)	12.4	12.4	14.0	B
市民マナー条例 啓発キャンペーンの回数	(30回)	28回	14回	10回	C



主な実績紹介

市民マナー条例における官学協働の啓発

平成19年に策定された通称「市民マナー条例」の内容を広く市民に周知するため、神戸芸術工科大学と連携し、「啓発用のうちわの作成・配布」、「犬のお散歩マナー」向上のためのモデルロードに設置する路面タイルと看板の作成を行いました。また、4月にはモデルロードお披露目式を開催しました。



芦屋オープンガーデン

平成16年に『芦屋庭園都市宣言』を行い、庭園都市の実現にむけて、平成17年度から芦屋オープンガーデンを開催しています。芦屋オープンガーデンでは、市内の個人・団体が育てた美しいお花・緑を広く開放し、市内の様々な美しい庭園を見て回る機会となっています。平成30年度は133の個人・団体に参加いただき、多くの方に市内の美しいお花・緑を楽しんでいただきました。



啓発用のうちわ



芦屋わがまちクリーン作戦

芦屋市環境衛生協会が主催する芦屋わがまちクリーン作戦では、ボランティアの皆さんと芦屋の玄関口である駅周辺を拠点にゴミ拾いを行い、市の内外に向けて「美しい芦屋」を発信しています。



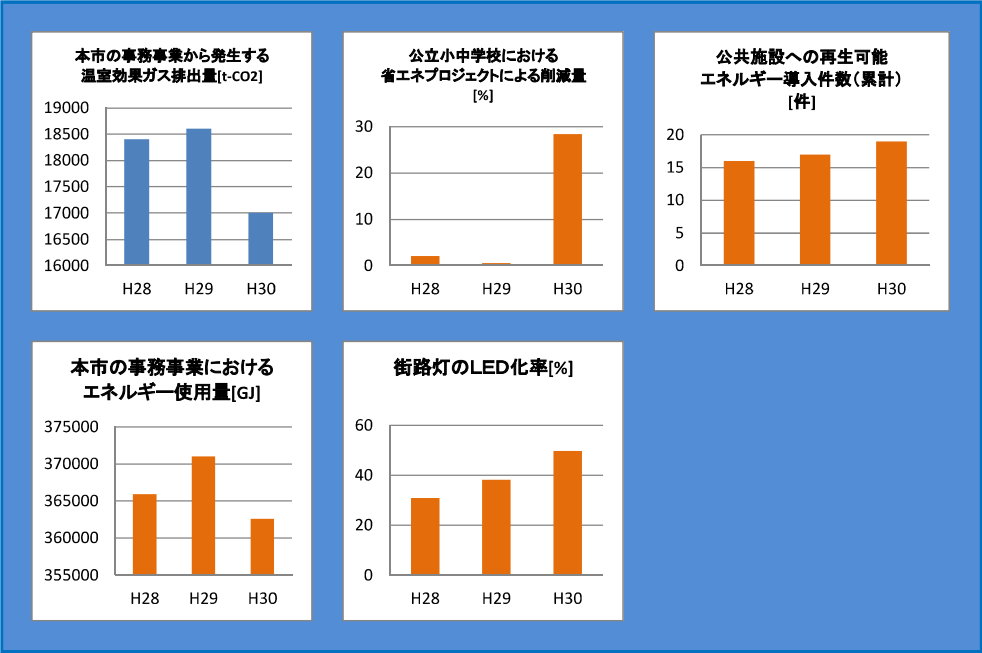
各課施策・取組状況一覧

施策の方向	施策	個別施策・取組	担当課	参考		30年度実績 (又は施策進捗を表す指標等)	令和元年度以降の取組内容(改善案) ※実施予定の取組み(改善案)について、必ず記入下さい。	
				28年度(概要)	29年度(概要)			
				実績	実績			
芦屋らしい景観を守り育てる	「やま・まち・海」の3つのゾーンで統一感のあるまちなみを形成する	①まちの景観形成推進事業 ②緑の保全地区の届出の受理及び助言・指導 ③地区計画の区域内における届出に対する助言・指導	都市計画課	①芦屋景観地区内における建築物の認定を行った。(認定件数:430件) ②緑の保全地区の届出に対し、助言や指導を行った。(届出件数:29件) ③地区計画の区域内における行為の届出に対し、助言や指導を行った。(届出件数:164件)	①芦屋景観地区内における建築物の認定を行った。(認定件数:385件) ②緑の保全地区の届出に対し、助言や指導を行った。(届出件数:37件) ③地区計画の区域内における行為の届出に対し、助言や指導を行った。(届出件数:157件)	①芦屋景観地区内における建築物の認定を行った。(認定件数:425件) ②緑の保全地区の届出に対し、助言や指導を行った。(届出件数:22件) ③地区計画の区域内における行為の届出に対し、助言や指導を行った。(届出件数:206件)	①～③例年通り業務を遂行する	すでに実施
	特徴のある景観を守る	①芦屋川周辺を特別景観地区に指定	都市計画課	①芦屋川特別景観地区内における建築物の認定を行った。(認定件数:4件)	①芦屋川特別景観地区内における建築物の認定を行った。(認定件数:6件)	①芦屋川特別景観地区内における建築物の認定を行った。(認定件数:11件)	①例年通り業務を遂行する	すでに実施
		①芦屋川沿道等の無電柱化	道路課	①無電柱化詳細設計を実施した。	①電線管理者と事業実施に向けた協議を継続して行った。	①電線管理者と事業実施に向けた協議を継続して行った。	①変更となった事業範囲について、低コスト手法を導入した詳細設計を実施する。	今年度
	景観資源を守ることに努める	①保護樹の指定	都市計画課	①保護樹を16本指定(累計、当該年度は新たな指定は無い)し、伐採等を行う際は、届出を行うことにより、保護を行っている。	①保護樹を15本指定(累計、当該年度は新たな指定は無い)し、伐採等を行う際は、届出を行うことにより、保護を行っている。	①保護樹を15本指定(累計、当該年度は新たな指定は無い)し、伐採等を行う際は、届出を行うことにより、保護を行っている。	①例年通り業務を遂行する	すでに実施
		①遺跡整備事業	生涯学習課	①金津山古墳、朝日ヶ丘遺跡の草刈り・剪定を各2回、会下山遺跡の草刈り・剪定を3回実施した。	①金津山古墳、朝日ヶ丘遺跡の草刈り・剪定を各2回、高木剪定を各1回、会下山遺跡の草刈を2回実施した。	①金津山古墳、朝日ヶ丘遺跡の草刈りを各2回、高木剪定を各1回、会下山遺跡の草刈を2回実施した。	従来とおり定期的な草刈り及び剪定を行っている。	今年度
みどりに囲まれた憩いの場をさらに充実させる	公共空間における緑の質の向上を図る	①街路等緑化推進事業 ②花壇植栽管理事業 ③公共施設等花苗配布事業	公園緑地課	①陽光緑地や総合公園にて枯損木の植え替えや、高浜町で地被類の植え替えを実施した。 ②公園等の花壇管理について自治会への活動助成や総合公園指定管理者に委託を実施した。(自治会:11,840㎡ 指定管理者:406㎡) ③出先公共施設や学校・園等に花苗等を提供した。(団体数:56団体)	①陽光緑地や総合公園にて枯損木の植え替えや、高浜町外で地被類の植え替えを実施した。 ②公園等の花壇管理について自治会への活動助成や総合公園指定管理者に委託を実施した。(自治会:11,794㎡ 指定管理者:406㎡) ③出先公共施設や学校・園等に花苗等を提供した。(団体数:56団体)	①陽光緑地や総合公園にて枯損木の植え替えや、高浜町外で地被類の植え替えを実施した。 ②公園等の花壇管理について自治会への活動助成や総合公園指定管理者に委託を実施した。(自治会:11,794㎡ 指定管理者:406㎡) ③出先公共施設や学校・園等に花苗等を提供した。(団体数:56団体)	①陽光緑地や総合公園にて枯損木の植え替えや、高浜町外で地被類の植え替えを実施予定。 ②公園等の花壇管理について自治会への活動助成や総合公園指定管理者に委託を実施予定。 ③出先公共施設や学校・園等に花苗等を提供予定。	今年度
	民有地の緑化に努める	①芦屋市緑化事業 ②県民まちなみ緑化事業	公園緑地課	①市民が生垣・壁面等の緑化を行う際に助成を実施した。(件数:16件 助成額:1,531千円) ②県の申請窓口として、苗木の購入費等の補助を実施した。(件数:2件 補助額:2,986千円)	①市民が生垣・壁面等の緑化を行う際に助成を実施した。(件数:12件 助成額:1,177千円) ②県の申請窓口として、苗木の購入費等の補助を実施した。(件数:1件 補助額:1,180千円)	①市民が生垣・壁面等の緑化を行う際に助成を実施した。(件数:10件 助成額:1,530千円) ②県の申請窓口として、苗木の購入費等の補助を実施した。(件数:1件 補助額:345千円)	①、②年々、件数が減少傾向にあるため、助成の対象の見直し等を行う予定。	今年度
	家庭における身近な緑化に努める	①オープンガーデン ②緑化講座、相談	公園緑地課	①オープンガーデンを8日間開催し、121の個人・団体が参加した。 ②総合公園にて、定例講習会や無料の相談会を実施。	①オープンガーデンを8日間開催し、127の個人・団体が参加した。 ②総合公園にて、定例講習会や無料の相談会を実施。	①オープンガーデンを10日間開催し、133の個人・団体が参加した。 ②総合公園にて、定例講習会や無料の相談会を実施。	①オープンガーデンを開催し、より参加者と理解者を増やすために説明会を実施予定。 ②総合公園にて、定例講習会や無料の相談会を実施予定。	今年度
自主的な清掃活動・美化活動を行う	自主的な清掃活動・美化活動を行う	①芦屋わがまちクリーン大作戦により芦屋川河川敷等の清掃	環境課	①9月 参加者380人 回収ゴミ540kg ※6月は雨天のため中止	①6月 参加者519人 回収ゴミ280kg 9月 参加者322人 回収ゴミ330kg	①・春の芦屋わがまちクリーン作戦 日時:平成30年5月26日(土) 清掃場所:市内全域(阪急芦屋川駅を除く市内3駅、陽光緑地・キャナルパーク帯を中心) ごみ収集量:可燃ごみ545kg 不燃ごみ35kg 合計580kg 参加者数:545人 ①・秋の芦屋わがまちクリーン作戦 日時:平成30年9月29日(土) 雨天中止	①・春の芦屋わがまちクリーン作戦 日時:令和元年5月25日(土) 清掃場所:市内全域(阪急芦屋川駅を除く市内3駅、陽光緑地・キャナルパーク帯を中心) ごみ収集量:可燃ごみ374kg 不燃ごみ26kg 合計400kg 参加者:476人 ①・秋の芦屋わがまちクリーン作戦 日時:令和元年9月28日(土) 清掃場所:市内全域(阪急芦屋川駅を除く市内3駅、陽光緑地・キャナルパーク帯を中心) ※海洋プラスチック問題対策として、陽光緑地・キャナルパーク帯のごみ集積所を増設予定	今年度

施策の方向	施策	個別施策・取組	担当課	参考		30年度実績 (又は施策進捗を表す指標等)	令和元年度以降の取組内容(改善案) ※実施予定の取組み(改善案)について、必ず記入下さい。	
				28年度(概要)	29年度(概要)			
				実績	実績			
きれいなまちなみを保つ		①ハイキングコース清掃及びごみ持帰り啓発事業	地域経済振興課	①クリーンハイキング(実施回数:1回、参加人数:約1,000人)(六甲山の美化活動として、宝塚スタートし、小雨決行の中ハイキングコースの清掃実施した。)②クリーンキャンペーン(実施回数1回)	①クリーンハイキング(実施回数:1回、参加人数:約950人。六甲山の美化活動として、西宮をスタートし、ハイキングコースの清掃実施した。)②クリーンキャンペーン(実施回数1回)	①クリーンハイキング(実施回数:1回、参加人数:約950人。六甲山の美化活動として、宝塚をスタートし、ハイキングコースの清掃実施した。)②クリーンキャンペーン(実施回数1回)	①協同で実施している宝塚市、西宮市と共に引き続き事業を実施していく。	今年度
	まちの美観の維持・向上に努める	①市民マナー条例による、ポイ捨て禁止などの美化推進施策の実施	環境課	①芦屋市市民マナー条例推進連絡会(3回)。啓発キャンペーン28回。啓発用看板の貸与・新規設置。自治会掲示板用啓発標示配布、警備委託(花火143日 プレジャーボート43日)。阪急バス車内アナウンス4停留所1日566回×365日。囃託職員による巡回指導 過料処分281件。神戸芸術工科大学との官学協働の取り組み(啓発まんがの作製、うちわイラスト・ビクトグラム・市民マナー条例推進計画表紙等のデザイン)。阪神6市での阪神地域喫煙マナー向上担当者連絡会の立上げ	①芦屋市市民マナー条例推進連絡会3回。啓発キャンペーン14回。啓発用看板の貸与・新規設置。自治会掲示板用啓発標示配布、警備委託(花火146日 プレジャーボート41日)。阪急バス車内アナウンス4停留所1日566回×365日。囃託職員による巡回指導 過料処分231件。神戸芸術工科大学との官学協働の取り組み(啓発まんがの作製、うちわイラスト・ビクトグラム・市民マナー条例推進計画表紙等のデザイン)。阪神6市での阪神地域喫煙マナー向上担当者連絡会1回及び大阪駅前での合同啓発キャンペーン実施1回。地域活動団体への啓発講座の実施2回。公用車に啓発用デザインのマグネットシートを貼付(4種類を四季毎に貼りかえ)。犬のお散歩マナー啓発まんがを公立小学校全児童に配布。	①芦屋市市民マナー条例推進連絡会3回。啓発キャンペーン10回。啓発用看板の貸与・新規設置。自治会掲示板用啓発標示配布、警備委託(花火145日 プレジャーボート25日)。阪急バス車内アナウンス4停留所1日566回×365日。囃託職員による巡回指導 過料処分171件。神戸芸術工科大学との官学協働の取り組み(うちわイラスト・イラストレーション教室)。阪神6市での阪神地域喫煙マナー向上担当者連絡会1回。公用車に啓発用デザインのマグネットシートを貼付(4種類を四季毎に貼りかえ)。犬のお散歩マナー向上モデルロードお披露目式開催。新聞・雑誌への条例等の掲載5回。環境ポスター展に市民マナー条例賞を創設。第2次芦屋市市民マナー条例推進計画の策定。	①・第2次芦屋市市民マナー条例推進計画に沿って、PDCAサイクルを重視した進捗管理を行う。「活動指標(目標値)」の設定を行い、進捗管理・達成状況の取りまとめを実施。また、「成果指標(苦情件数等)」に基づく評価を行い、翌年度の取組内容に反映させる。 ・活動指標が確定しているもの ア)芦屋市市民マナー条例推進連絡会3回 イ)警備委託(花火147日プレジャーボート18日) ウ)公用車に啓発用デザインのマグネットシートを貼付(4種類を四季毎に貼りかえ)。 エ)啓発キャンペーン11回。	今年度
		・自転車等駐輪対策事業 ①駐輪場の維持管理	建設総務課	①駐輪場の適正な維持・管理を実施した。(箇所数:15箇所)	①駐輪場の適正な維持・管理を実施した。(箇所数:15箇所)	①駐輪場の適正な維持・管理を実施した。(箇所数:15箇所)	①駐輪場の適正な維持・管理を実施する。(箇所数:14箇所(予定))	今年度
		・自転車等駐輪対策事業 ①放置自転車の移送・保管	道路課	①放置自転車1105台、原付91台の移送を行った。(72回)	①放置自転車1047台、原付78台の移送を行った。(72回)	①放置自転車1018台、原付66台の移送を行った。(72回)	引き続き、放置自転車の移送・保管を行う。	今年度

基本目標④ 地球温暖化を防ぐ	
総合評価	- エネルギー使用量 昨年度は夏の猛暑のため、第2四半期のエネルギー使用量は増加しましたが、暖冬の影響で第4四半期のエネルギー使用量は減少し、全体として減少いたしました。 - 温室効果ガス排出量の削減 市の事務事業から排出される温室効果ガスは、基準年度（平成26年度）に比べ、14.1%減となり、平成32年度までに5%削減するという目標を達成することができました。今後は、最終目標である2030年度までに40%削減の取組みにむけて、より一層の削減に取り組めます。 - その他 街路灯のLED化率は目標値を達成し、公共施設への再生可能エネルギー導入件数も2件増加しました。
A	総合評価につきましては、目標を達成した指標が多く、「A」評価となりました。

指標	目指す方向 (目標)	28年度実績	29年度実績	30年度実績	30年度評価
本市の事務事業における温室効果ガス排出量[t-CO2]	↘ (18,816)	18,404	18,606	17,006	A
公立小中学校における省エネプロジェクトによる削減量(基準年:平成22年比) [%]	↗	2.1	0.6	28.4	A
公共施設への再生可能エネルギー導入件数(累計) [件]	↗ (20)	16	17	19	B
本市の事務事業におけるエネルギー使用量[GJ]	↘ (361,808)	365,949	371,013	362,616	B
街路灯のLED化率	↗ (☆41.8)	30.9	38.2	49.7	A



主な実績紹介

山手中学校の改修を実施し、省エネ設備の導入等を行いました。

窓を大きく取り、光を取り入れることによって明るさセンサーによる調光を推進。また中庭を緑化することにより涼しさを感じることをできるよう配慮しました。

ペアガラスを採用し、断熱効果を図っています。

照明のLED化・人感センサー及び明るさセンサーを採用しました。

超高効率ヒートポンプエアコン GHPXAIR II を採用しました。

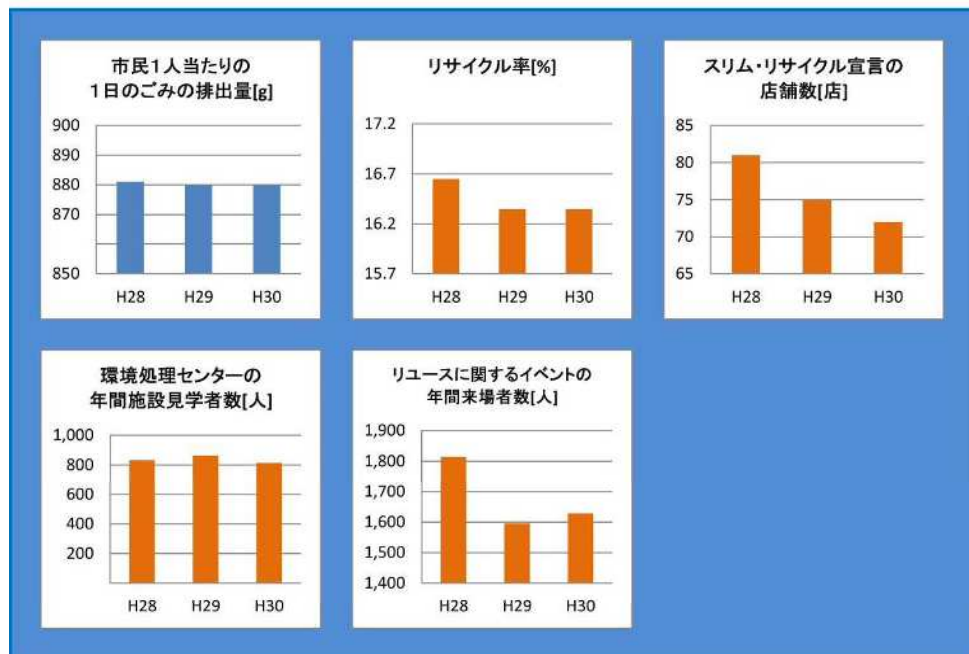
20kwの太陽光発電システムを導入し、環境問題を提起しています。

各課施策・取組状況一覧

施策の方向	施策	個別施策・取組	担当課	参考		30年度実績 (又は施策進捗を表す指標等)	令和元年度以降の取組内容(改善案) ※今年度以降に実施する取組み(改善案)について、必ず記入下さい。	
				28年度(概要)	29年度(概要)			
				実績	実績			
地球規模の環境問題やエネルギーのことを知る	エネルギー使用量を把握し、削減に努める	①地球温暖化防止対策として第4次芦屋市環境保全率先実行計画を策定し、温室効果ガス削減を目標にエネルギー使用量削減に取り組む	環境課	①温室効果ガス排出量 7.1%減(目標:基準年度(H26)比で5%減) 芦屋市電力の調達に係る環境配慮指針の策定 ②エネルギー使用量[GJ] 4%減(目標:H26比で5%減)	①温室効果ガス排出量 6.1%減(目標:基準年度(H26)比で5%減) 芦屋市電力の調達に係る環境配慮指針の策定 ②エネルギー使用量[GJ] 2.6%減(目標:H26比で5%減)	①温室効果ガス排出量 14.1%減(目標:基準年度(H26)比で5%減) 芦屋市電力の調達に係る環境配慮指針の策定 ②エネルギー使用量[GJ] 4.9%減(目標:H26比で5%減)	庁内で研修を実施したり、エネルギー、電力の使用量を掲示板等で周知し、情報の共有を図っていく。	今年度
	節電・省エネ行動について学び、地球温暖化問題に関心を持つ	①地球温暖化や節電・省エネに関心を持たせるための啓発事業	環境課	①地球温暖化防止活動推進員と協同であしや秋まつりに出店し、パネル啓発及び環境クイズを実施(参加者283名)。	①地球温暖化防止活動推進員と協同であしや秋まつりに出店し、パネル啓発及び環境クイズを実施(参加者256名)。	台風により秋まつりが中止となったため、実施せず。	桜まつり、福祉フェア、LED工作教室の実施等、新たなイベントを開催し、啓発を実施した。	実施済み
	小中学校での節電・省エネの取組に進んで参加し、環境問題に興味を持つ	①小中学校での省エネプロジェクト	管理課 学校教育課	①電気・ガス使用量 [小学校]3.0%削減 [中学校]3.8%増加 [全体]2.1%削減 ※基準年(平成22年)比	①電気・ガス使用量 [小学校]0.6%削減 [中学校]1.8%増加 [全体]0.6%削減 ※基準年(平成22年)比	①電気ガス使用量 [小学校]30.4%削減 [中学校]19.1%削減 [全体]28.4%削減 ※基準年(平成22年)比	①小学校については、基準年と比較して、電気・ガス使用量の削減に取り組むことでさらなる省エネ対策を行う。また、中学校についても、全体の使用量の増加をできる限り制限するように努める。	今年度
次の世代のためにエネルギーを有効に使う	公共施設などへの省エネルギー機器の導入及び再生可能エネルギーの利用を進める	①公共施設での導入	建築課	①公共施設改修の照明設計の際に、照明更新であれば基本的にLED化を図っている。	①公共施設改修の照明設計の際に、照明更新であれば基本的にLED化を図っている。上宮川町住宅6号棟や浜風集会所などの共用部における全面LED照明化を行った。	①公共施設の照明改修の際に、LED化を図っている。 茶屋集会所及び各市営住宅の共用部の改修工事においてLED化を実施した。	①こども園の新築工事(2件)において、省エネルギーに配慮した照明器具、空調機器の採用を計画する。来年度以降の工事監理の中でも、計画した機器の設置を確認する。	来年度
		①学校園での導入	管理課	①浜風小学校普通教室棟大規模改修において、省エネ型の照明・衛生設備機器を設置した。	①浜風小学校特別教室棟・体育館棟大規模改修における、省エネ型の照明・衛生設備機器導入	①山手中学校改築工事において、省エネ型の照明・衛生設備機器を導入した。	①精道中学校建替工事における、省エネ型の照明・衛生設備機器の導入	来年度
		①街路灯のLED化	道路課	水銀灯100wを214灯、200w以上を120灯、メタルハライド灯を1灯、蛍光灯を396灯、蛍光灯コンパクト型を221灯、ナトリウムを11灯、白熱灯を28灯のLED化を実施。新設LEDを59灯設置。(計1050灯)LED化率(30.9%)	水銀灯100wを22灯、200w以上を182灯、メタルハライド灯を17灯、蛍光灯を158灯、蛍光灯コンパクト型を87灯、ナトリウムを741灯のLED化を実施。新設LEDを18灯設置。(計565灯)LED化率(38.2%)	水銀灯100wを3灯、200w以上を276灯、メタルハライド灯を16灯、蛍光灯を298灯、蛍光灯コンパクト型を152灯、ナトリウムを95灯のLED化を実施。新設LEDを112灯設置。(計952灯)LED化率(49.7%)	水銀灯200w以上を334灯、蛍光灯を200灯、蛍光灯コンパクト型を130灯、ナトリウムを162灯のLED化を実施。新設LEDを29灯設置。(計855灯)LED化率(60.3%)	今年度
次の世代のためにエネルギーを有効に使う	家庭及び事業所における省エネルギー機器の導入及び再生可能エネルギーの利用を進める	①新エネ・省エネ機器の導入補助	環境課	①市内の住宅にエネファームを設置した個人に導入費用の一部補助を実施した。【一律4万円】(合計76件)	①市内の住宅にエネファームを設置した個人に導入費用の一部補助を実施した。【一律4万円】(合計78件)	①市内の住宅にエネファームを設置した個人に導入費用の一部補助を実施した。【一律4万円】(合計69件)	引き続き省エネ機器の導入を促進していく。	今年度
		①低炭素建築物の認定申請に対する審査・指導	建築指導課	①都市の低炭素化の促進に関する法律に基づく低炭素化された建築物の認定申請に対して、審査等を実施した。(申請数:7件)	①都市の低炭素化の促進に関する法律に基づく低炭素化された建築物の認定申請に対して、審査等を実施した。(申請数:5件)	①都市の低炭素化の促進に関する法律に基づく低炭素化された建築物の認定申請に対して、審査等を実施した。(申請数:4件)	①都市の低炭素化の促進に関する法律に基づく低炭素化された建築物の認定申請に対して、審査等を実施する。	今年度
	家庭でできる節電やエコドライブなど、身近な取組の実践に努める	①打ち水など身近な取組を実施する。	環境課	①地球温暖化防止活動推進員と協同で打ち水を実施(計4箇所) ②福祉フェア(7月23日)にてゴーヤの苗を配布	①地球温暖化防止活動推進員と協同で打ち水を実施(計2箇所) ②市内の保育所にゴーヤの苗を配布 ③エコ・クッキングを市民センターで実施(参加者10名)。	①地球温暖化防止活動推進員と協同で打ち水を実施(計2箇所) ②市内の保育所にゴーヤの苗を配布 ③エコ・クッキングを大阪ガスのハグ・ミュージアムで実施(参加者8名)。	引き続きイベントを実施していく。	今年度

基本目標⑤ 循環型社会を創る	
総合評価	主な実績及び評価の理由 ・3R～各項目共、一定の成果あり～ 以下のとおり、3Rの各項目で一定の成果が上がっているものと思われます。引き続き、周知啓発を含めた各種取組を進める予定です。 減量（リデュース）：市民1人当たりの1日のごみ排出量は徐々に減少 再利用（リユース）：リユースフェスタの参加者が増加傾向 再資源化（リサイクル）：スリム・リサイクル宣言の店舗数も目標値を達成 （参考）水資源の有効活用～地下水の涵養～ 透水性舗装、雨水浸透枳や雨水貯留施設の整備により、雨水の有効利用及び地下水の涵養を進めています。雨水浸透枳や雨水貯留施設は地下水の涵養のほか、治水対策にも貢献するため、今後も引き続き設置に関する指導や補助を実施する予定です。 また、今後の歩道更新に合わせて透水性舗装を順次実施する予定です。 以上の結果から、総合評価は「A」となりました。
A	

指標	目指す方向 (目標)	28年度実績	29年度実績	30年度実績	30年度評価
市民1人当たりの1日のごみ排出量[g]	(900)	881	880	880	A
リサイクル率[%]	(☆19.6)	16.6	16.3	16.3	C
スリム・リサイクル宣言の店舗数[店]	(50)	81	75	72	A
環境処理センターの施設見学者の年間合計[人]	(950)	833	863	814	C
リユースに関するイベントの年間来場者数[人]	(300)	1815	1596	1628	A



主な実績紹介

リユースフェスタ

粗大ごみとして環境処理センターに運ばれた自転車や家具類を再生品として有効利用するため、修理・展示し希望者に無料または有料で提供しています。ごみとして捨てられた物でも修理をすることで利用できることを市民に啓発するとともにごみの減量化に貢献しています。

リユースフェスタの様子



スリム・リサイクル宣言の店

「スリム・リサイクル宣言の店」とは「ごみ減量化・再資源化に取り組む店舗、事業所等」として市が指定した店舗、事業所等を指す。

目的としては、以下の2点が挙げられます。
・ごみ減量化・再資源化に向けた取組拡大
・市、市民及び事業者が一体となった運動展開

平成30年3月末現在、市内では75店舗を指定しており、指定した店舗には以下のステッカーを掲示する他、本市ホームページで紹介しています。

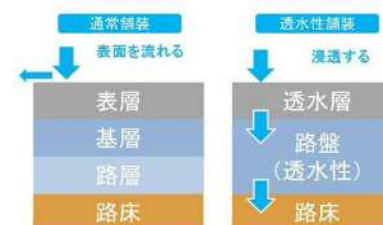


透水性舗装

透水性舗装とは、道路に降った雨水を舗装内の隙間から地中へ逃がす機能を持った舗装であり、地下水の涵養や歩行者への水の跳ね返し防止に効果があります。

本市では、歩道の改修時に透水性舗装を施すこととしており、市内全域で透水性舗装を随時実施しています。

通常舗装と透水性舗装の違い



各課施策・取組状況一覧

施策の方向	施策	個別施策・取組	担当課	参考		30年度実績 (又は施策進捗を表す指標等)	令和元年度以降の取組内容(改善案) ※今年度以降に実施する取組み(改善案)について、必ず記入下さい。	
				28年度(概要) 実績	29年度(概要) 実績			
ごみを減らし、資源を繰り返し利用する	マイバックの持参やごみ出しルールの徹底などにより、ごみの減量に努める	①マイバックキャンペーン ②ごみ収集カレンダー・家庭ごみハンドブックの配布 ③「住みよい芦屋をつくる」ポスター展	環境施設課	①11月3日のフリーマーケット、並びに2月17日・18日開催のリユースフェスタと同時開催した。 ②ごみ収集カレンダーの各戸配布及び市内転居者への家庭ごみハンドブックの配布 ③小中学生を対象に、「環境問題・ごみの減量化・マイバック持参運動等」に関するポスターを募集(応募数:688点) ②広報あしや環境特集号1面において、新たな視点により、市民の役割である「ごみステーションの管理」への感謝と「一人ひとりのごみ出しルールやマナー」へのご協力をお願いの趣旨の記事を掲載。 また、広報チャンネル「あしやトライアングル」において、計画的に掘り潜めた収集現場や環境処理センターでの選別作業の映像を使用するとともに、現場作業員自らメッセージを発信する新たな試みによる特集番組を制作し、ごみ出しルールの啓発を推進した。	①6月4日、11月3日にフリーマーケットとマイバッグキャンペーンを同時開催。5月26～27日、10月6～7日にリユースフェスタを開催。2月16～17日にリユースフェスタとマイバッグキャンペーンを同時開催した。 ②ごみ収集カレンダー、家庭ごみハンドブック(H29.10作成)、事業系ごみハンドブック(H29.12作成)の各戸配布、市内転居者への家庭ごみハンドブックの配布 ③小中学生を対象に、「環境問題・ごみの減量化・マイバック持参運動等」に関するポスターを募集(応募数:684点) ④広報あしや環境特集号2面において、「芦屋市一般廃棄物処理基本計画(ごみ処理基本計画)」の策定について基本理念、基本方針、数値目標、等の3面に資源ごみの売却実績などの記事を掲載	①5月27日、11月3日にフリーマーケットとマイバッグキャンペーンを同時開催。6月1～2日にリユースフェスタとマイバッグキャンペーンを同時開催。11月16～17日にリユースフェスタとフードドライブを同時開催。3月15～16日にリユースフェスタとマイバッグキャンペーンとフードドライブを同時開催した。 ②小中学生を対象に、「環境問題・ごみの減量化・マイバック持参運動等」に関するポスターを募集(応募数:345点) ③庁内における審議会等における飲料の提供方法の変更 近年、不適正な処理のため世界全体で年間数百万トンを超える陸上から海洋へのプラスチックごみの流出があると推計され、地球規模での海洋汚染が懸念されるなか、昨今問題となっている海洋プラスチック問題への対応をすべく、海洋プラスチックごみによる汚染の防止を、実効的に進めるため、本市におけるプラスチックごみの削減推進の一環、行政の率先した取組として、昨年度、庁内の審議会等で飲料を提供する会議における飲料提供方法を庁内調査を実施し、対策案を検討のうえ、庁内調整を進めた。	①家庭ごみハンドブック(H29.10作成)を改訂(H31)し、各戸配布、市内転居者への家庭ごみハンドブックの配布を行い、より一層の啓発に努める。 ②昨年度から庁内における審議会等における飲料の提供方法の変更を実施するため、具体的検証を進め、今年度より庁内の審議会等で飲料を提供する会議における飲料提供についてペットボトル飲料での提供を原則廃止し、本庁舎等の給湯室にポットや湯飲み等を設置する対応を行い、使い捨てプラスチックの使用の削減に努める取組を実施する(5月頃に実施予定)。	今年度
		①フリーマーケット ②再生資源集団回収報奨金交付 ③再生家具類等の展示・販売 ④スリム・リサイクル宣言の店	環境施設課	①JR芦屋駅前ベストリアンデッキでフリーマーケットを実施した。(開催月:5月、11月) ②集団回収団体へ回収量1kgにつき4円の報奨金を交付することで資源の有効活用とごみの減量を図った。(交付団体:175団体 回収量:3,737t 報奨金:14,948千円) ③家具類と自転車のリユースフェスタを実施した。(展示品数:225点 来場者数:1,815人) ④市内の指定店において、簡易包装、再資源化などを推進した。(店舗数:81店)	①JR芦屋駅前ベストリアンデッキでフリーマーケットを実施した。(開催月:6月、11月) ②集団回収団体へ回収量1kgにつき4円の報奨金を交付することで資源の有効活用とごみの減量を図った。(交付団体:176団体 回収量:3,582t 報奨金:14,327千円) ③家具類と自転車のリユースフェスタを実施した。(展示品数:232点 来場者数:1,596人) ④市内の指定店において、簡易包装、再資源化などを推進した。(店舗数:75店)	①JR芦屋駅前ベストリアンデッキでフリーマーケットを実施した。(開催月:5月、11月) ②集団回収団体へ回収量1kgにつき4円の報奨金を交付することで資源の有効活用とごみの減量を図った。(交付団体:178団体 回収量:3,481t 報奨金:13,926千円) ③家具類と自転車のリユースフェスタを実施した。(展示品数:242点 来場者数:1,628人) ④市内の指定店において、簡易包装、再資源化などを推進した。(店舗数:72店)	①再生資源集団回収報奨金は、より取組しやすい制度にするため、申請方法を検討する。	今年度
		リユースフェスタなどのイベントへの参加や「スリム・リサイクル宣言の店」の充実により、3R活動に取り組む	①多様な収集によるリサイクルの促進	収集事業課	①年末ごみの収集日拡充対応を継続実施し、市民の利便性向上を図ると共に、その機会に併せ、広報チャンネル「あしやトライアングル」やHP、広報紙等を活用したごみ出しルールの啓発を引き続き推進した。 また、12分別に基づく家庭ごみの収集及び「さわやか収集」を引き続き実施するうち、粗大ごみはリフト車での「有料」「非破碎」収集により、再生可能な家具類などの再資源化に努め、環境施設課所管のリユースフェスタに寄与した。 また、12分別に基づく家庭ごみの収集及び「さわやか収集」を引き続き実施するうち、粗大ごみはリフト車での「有料」「非破碎」収集により、再生可能な家具類などの再資源化に努め、環境施設課所管のリユースフェスタに寄与した。 更に、環境施設課による「芦屋市家庭ごみハンドブック」全面改訂の機会を捉え、ごみ出しルールの再徹底及び出し方のポイント等を改めて掲載すると共に、残置したごみに貼付ける「ごみ出しルール啓発シール」を改訂することにより、収集作業現場において、ごみの分別収集ひいては適正処理及びリサイクルに対する相乗的な市民意識の向上に努めた。	①年末ごみ収集日拡充対応の継続実施により市民の利便性向上を図ると共に、その機会に併せ、広報チャンネル「あしやトライアングル」やHP、広報紙等を活用したごみ出しルールの啓発を引き続き推進した。 また、12分別に基づく家庭ごみの収集及び「さわやか収集」を引き続き実施するうち、粗大ごみはリフト車での「有料」「非破碎」収集により、再生可能な家具類などの再資源化に努め、環境施設課所管のリユースフェスタに寄与した。 さらに、残置したごみに貼付ける「ごみ出しルール啓発シール」による啓発を引き続き行い、収集作業現場において、ごみの分別収集ひいては適正処理及びリサイクルに対する相乗的な市民意識の向上に努めた。	①年末ごみ収集日拡充対応の継続実施により市民の利便性向上を図ると共に、その機会に併せ、広報チャンネル「あしやトライアングル」やHP、広報紙等を活用したごみ出しルールの啓発を引き続き推進する。 また、12分別に基づく家庭ごみの収集及び「さわやか収集」を引き続き実施するうち、粗大ごみはリフト車での「有料」「非破碎」収集により、再生可能な家具類などの再資源化に努め、環境施設課所管のリユースフェスタに寄与する。 更に、「家庭ごみ収集カレンダー」や、「芦屋市家庭ごみハンドブック」において、ごみ出しルールの再徹底及び出し方のポイント等のより分かりやすい周知を検討すると共に、残置したごみに貼付ける「ごみ出しルール啓発シール」による啓発を引き続き行うことにより、収集作業現場における、ごみの分別収集ひいては適正処理及びリサイクルに対する相乗的な市民意識の向上に努める。	すでに実施

施策の方向	施策	個別施策・取組	担当課	参考		30年度実績 (又は施策進捗を表す指標等)	令和元年度以降の取組内容(改善案) ※今年度以降に実施する取組み(改善案)について、必ず記入下さい。	
				28年度(概要) 実績	29年度(概要) 実績			
		①建築リサイクル届に対する審査・指導	建築指導課	①解体工事等に発生する建築資材のリサイクルに関する届出の受理や指導を実施。受理件数184件、通知36件	①解体工事等に発生する建築資材のリサイクルに関する届出の受理や指導を実施した。受理件数178件、通知44件	①解体工事等に発生する建築資材のリサイクルに関する届出の受理や指導を実施した。受理件数153件、通知39件	①解体工事等に発生する建築資材のリサイクルに関する届出の受理や指導を実施する。	今年度
		①家庭用品交換会及び修理事 ②リサイクル教室	地域経済振興課	①リユースフェスタを実施。	環境施設課のリユースフェスタに参加(計4日、参加人数993名)。リユース、リサイクルに関するクイズの配布や、食品保存袋を配布するなど、幅広い世代に対し、啓発を行った。	環境施設課のリユースフェスタに参加(計4日、参加人数725名)。リユース、リサイクルに関するクイズの配布や、食品保存袋を配布するなど、幅広い世代に対し、啓発を行った。	①引き続き環境施設課と合同でクイズやリサイクル教室を行い、市民のニーズに合わせた啓発事業を進めていく。	今年度
	ごみ処理に伴う環境負荷の低減を図るため、施設・設備の適正な維持管理と保守点検を行う	①環境処理センター運営協議会の開催 ②運転状況結果の公表	環境施設課	①運営協議会の開催(8月24日) ②平成28年度の運転状況結果を平成28年9月1日発行の広報あしや環境特集号に掲載した。	①運営協議会の開催(8月27日) ②平成28年度の運転状況結果を平成29年6月1日発行の広報あしや環境特集号に掲載した。	①運営協議会の開催(8月22日) ②平成29年度の運転状況結果を平成30年6月1日発行の広報あしや環境特集号に掲載した。	①運営協議会の開催(8月予定) ②平成30年度のダイオキシン類の測定結果を令和元年6月に市ホームページに掲載した。	実施済み
環境製品にやさしい	グリーン購入や環境保全上のメリットについて学ぶ	①グリーン購入に係る啓発	環境課	①グリーン購入について知ることができるように、グリーン購入に関するHPを作成した。	①グリーン購入について知ることができるように、グリーン購入に関するHPを作成した。	①グリーン購入について知ることができるように、グリーン購入に関するHPを作成した。	グリーン購入の研修を実施し、グリーン購入法適合商品の購入を依頼した。	実施済み
	グリーン購入対象商品の利用を推進する	①市の購入物品を可能な限りグリーン購入にする	環境課	①率先実行計画の取組みの一つとして、グリーン購入の推進を掲げ、全庁的に取り組んでいる。	①率先実行計画の取組みの一つとして、グリーン購入の推進を掲げ、全庁的に取り組んでいる。	①率先実行計画の取組みの一つとして、グリーン購入の推進を掲げ、全庁的に取り組んでいる。	グリーン購入の研修を実施し、グリーン購入法適合商品の購入を依頼した。	実施済み
水資源の有効な活用を考える	水循環の確保に配慮した取組の重要性の啓発を進める	①水資源についての啓発	環境課	①水資源の保全を含め、省資源について知ることができるように、省資源に関するHPを作成した。	①水資源の保全を含め、省資源について知ることができるように、省資源に関するHPを作成した。	①水資源の保全を含め、省資源について知ることができるように、省資源に関するHPを作成した。	引き続き啓発を実施していく。	実施済み
	透水性舗装、雨水浸透樹、雨水貯留施設などの導入により、雨水の有効利用を進める	①透水性舗装の拡充	道路課	①歩道を透水性舗装へ更新を実施した。(施工面積:1307㎡)	①歩道を透水性舗装へ更新を実施した。(施工面積:641㎡)	①歩道を透水性舗装へ更新を実施した。(施工面積:420㎡)	①透水性舗装の拡充	今年度
		①浸透樹・透水管の設置 ②雨水貯留施設の設置者への補助	下水道課	①阪急電鉄以南の区域において、1戸あたり2箇所の浸透樹の設置・500㎡以上の土地については浸透管及び透水性舗装の設置について指導を行った。 ②平成28年度補助件数3件	①阪急電鉄以南の区域において、1戸あたり2箇所の浸透樹の設置・500㎡以上の土地については浸透管及び透水性舗装の設置について指導を行った。 ②平成29年度補助件数8件	①阪急電鉄以南の区域において、1戸あたり2箇所の浸透樹の設置・500㎡以上の土地については浸透管及び透水性舗装の設置について指導を行った。 ②平成30年度補助件数5件	①浸透樹・透水管の設置 ②雨水貯留施設の設置者への補助	今年度